

身近な社会福祉施設で

新しい自分の発見を

社会福祉施設でのボランティア活動は、日本で古くから行われている活動の一つです。社会から孤立しがちなかたがたに、住民が地域の風を吹き込むことに最大の意義があります。単に、施設の仕事を手伝うだけでなく、施設で生活しているかたとの心のつながりも大切です。つまり、福祉施設でのボランティア活動と、施設を利用しているかたたちの生活の質を高めることに大きな期待がかけられているのです。

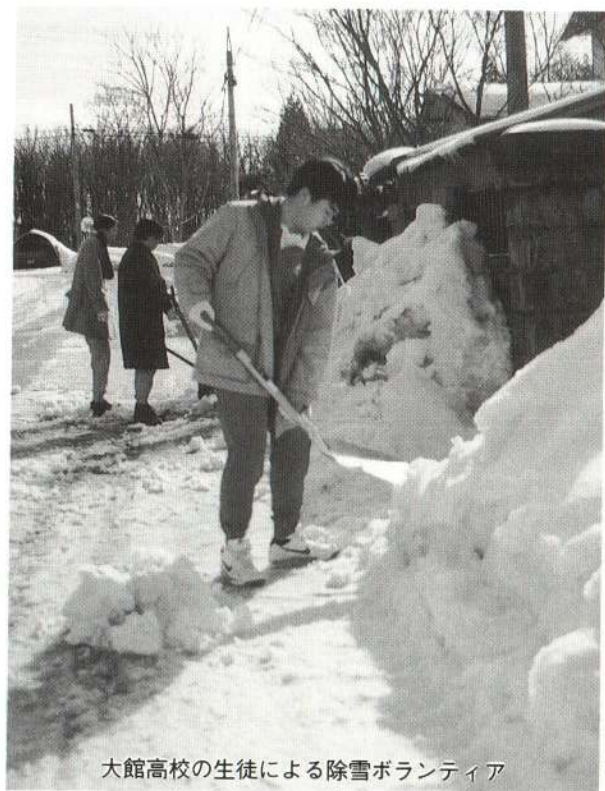
施設の成り立ちや

意義の理解を

社会福祉施設で職員やそこで生活するかたに受け入れられる活動を行うには、施設の成り立ちや意義、職員の役割などについてよく

理解する必要があります。では、社会福祉施設について簡単に紹介します。

施設には法律に基づく認可施設と、小規模な作業所などの無認可施設があります。認可施設の種類だけを見ても、大きく三つに分け



大館高校の生徒による除雪ボランティア

ることができま。保育園や乳児院、母子寮など子どもを対象とした施設、肢体不自由者更生施設や視覚障害者施設、身体障害者授産施設などの障害者を対象とした施設、養護老人ホームや特別養護老人ホーム、デイサービスセンターといったお年寄りを対象とした施設です。こうした施設は、二十四時間生活の場となる入所型と、利用者が日中通ってくる通所型の二つのタイプに分けられます。

施設には、施設長をはじめ、事務員や指導員、寮母、栄養士、看護婦などの職員がチームプレイで日々の生活を支えています。

男性の参加、企業の

バックアップが増えています

具体的に行う福祉活動は、夏祭りやハイキングなど、施設で行う行事やレクリエーションの手伝い、子ども会の学習補助、体の不自由なかたの外出の介護、配膳配食の手伝い、機関紙の発行、ベッドメイキング、施設の清掃などさまざま。このほかにも、施設の種類の利用者の別によって多くの活動が考えられます。

これらの活動をしているかたたちは、「人のため役立つ」という

気持ちだけではありません。多くのかたは、地域との接点を見つけるため、そして新しい自分を発見するためにを行っています。特に最近では、男性の姿が多くみられ、会社とは違った新しい世界を見つけているようです。また、企業もこうした活動に対してさまざまな形でバックアップをするようになってきています。

大館市のボランティアの

現状と今後

現在、大館市社会福祉協議会に登録しているボランティアグループは、二十四団体となっています。

これらの団体の中には、手話グループや朗読グループ、一人暮らしの家庭を訪問したりしている在宅福祉グループなどがあります。そのほかにも企業や市内高校生な

どが高齢者家庭の除雪ボランティアの活動もしています。また、ボランティアグループに参加していないが、一人で身近なところで活動しているかたもたくさんいます。

今年度、大館市社会福祉協議会が中心となって「大館市ボランティアセンター」を設置するための準備が進められています。このセンターは、地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるために、市内におけるボランティア関係団体及びボランティア活動に関心のある個人などの相互の連携と円滑な運営を図ることを目的とした、ボランティア活動の拠点となるものです。

あなたもボランティア活動に参加してみませんか。

ボランティアについてのお問い合わせは、大館市社会福祉協議会
(☎4218101)へ

ボランティア10カ条

- ① 自分にあつた、身の回りのことから手がけること。
- ② 相手のニーズに合わせ活動すること。
- ③ 細く、長く、無理しないこと。
- ④ 約束を果たすこと。
- ⑤ 秘密を守ること。
- ⑥ 活動にけじめをつけること。
- ⑦ 活動を点検し、記録を取ること。
- ⑧ 絶えず学習し、自分を成長させること。
- ⑨ 謙虚であること。
- ⑩ 家族や職場などの理解を得ること。

